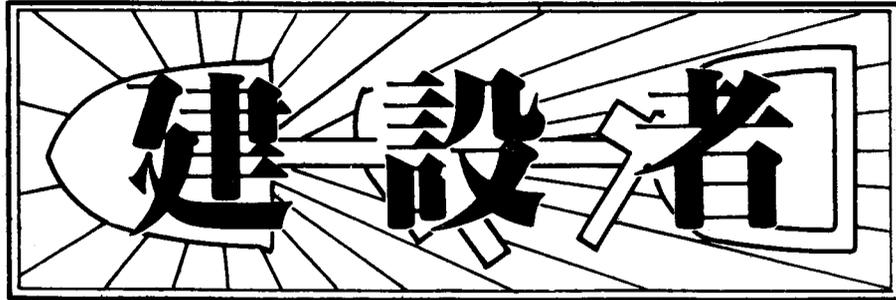


今月の葛飾組織現勢

2007年6月1日現在	5,777人
加 入	21人
転 入	4人
脱 退	32人
転 出	5人
2007年7月1日現在	5,765人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電 話 (5698) 1 2 6 1
 F A X (5698) 1 2 6 2
 発行人 細 貝 文 洋

政治の流れ 変えるチャンス
 守れ 平和憲法
 返せ 年金
 なくせ 格差と貧困

参議院選挙 7月29日投票

争点明確に要求実現の機会

「生活苦しい」最悪の56%超に

07年政治「決戦」参院選が目前に迫ってきました。最大の争点は、いわゆる「消費税」問題、松岡大臣自



全国から5400人が参加した全建総連の集会（6月7日）

殺にみられる政治とカネをめぐる問題の解決、「医療難民」「介護難民」「ネットカフェ難民」、ワーキングプアとよ

さらに先の国会で「改憲国民投票法」成立で、平和憲法9条をめぐる問題です。海外でもアメリカとともに「戦争する国」にするかどうかです。土建国保を含め社会保障の連続改悪と住民税増税、選挙後には消費税の引上げも基本方針となっています。

増税反対、格差なくせ！集会が

全建総連は6月7日野音に5400人が参加して「消費税引上げ反対、大衆増税反対大集会」を開きました。集会後はマーチングバンドを先頭に銀座デモを行いました。沿道の人の注目もあびました。

夏休みは青戸平和公園に行こう！

第15回土建まつり8月5日(日)開催

第30回住宅デリーの次は土建まつりです。8月5日の日曜日青戸平和公園にご家族、ご近所をさそってきてください。15年目、15回かつしか土建

まつりは、葛飾支部全分会が一堂に会して区民と楽しく交流する場として開催しつづけてきました。昨年は11月開催でしたが今年度は11月開催

み中の開催となりました。分会売店、中央舞台、大工教室など楽しさいっぱいの企画を準備します。「夏休みは土建まつり」(樺山都議)といわれるまつりと

また、葛飾区、同教育委員会の後援をうけた催しです。新しく加入された皆さんもふくめ、5765人の仲間と家族と区民の交流の場としてぜひ成功させましょう。実行委員会は別途通知して準備します。

「公共事業における建設労働者の適正な労働条件確保」の意見書

6月28日葛飾区議会 全会一致で採択

景気に左右されない賃金確保を、公共工事で働く現場労働者の労働条件の確保が安全や品質を確保することになるものとして、「公契約法」を国に求める決議が6月28日、葛飾区議会本会議で全会一致で採択されました。

正式には「公共事業における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書」として議員提出議案として提出されました。

この間支部では区議会全会派を訪ね、この主旨を説明し国への意見書提出を求めてきた結果、採決となったものです。意見書は、建設業が果たしてきた社会資本整備や経済の発展、雇用確保などを認めつつ、最近の公共工事における減少で受注競争の激化による賃金へのしわ寄せ、建設労働者の生活が苦しくなっているとも指摘しています。

適正な労働条件確保への法整備と参院での附帯決議の実効を図る2点を決議したものです。

土建国保守るハガキ要請

1人4枚 全員記入を

本年度は国の特別助成、都補助の増額を勝ちとりました。しかし、普通調整補助金の見直し、賦課率の見直し、来年4月から義務付けられる特定健康診断・特定保健指導により土建国保の運営は不安定化を増しています。

特定健康診断・特定保健指導関連の3分の1補助は法律上明記されておらず「国保組合にも公営国保並みに」という厚労省課長の答弁があるだけです。都においては一定の前進

地元国会・都議賛同署名も要請

地元国会議員、地元都議会議員の賛同署名も取組みます。これまでも全員の賛同をえています。今年も取組みます。

寅さん

▼参院選挙、いよいよである。この選挙に憲法がかかっていると思うと、いやでも力が入る。

「消えた年金」問題も「24時間介護」をうたったコムスンの不正請求も。数年前、「自己責任、自己責任」と騒いでいたのは誰だったろう。そのお膝もとから、こういった責任放棄の事件や不祥事が次々に起きてくることを、声高に「自己責任」を唱えた政治家たちは、そのお先棒を担いだ評論家たちは、どう説明するのだろうか。

▼かつて文化放送でレモンちゃんなどといわれた落合恵子さんの言葉だ。彼女はつづける。めまぐるしく起きるニュースに目を奪れず、前掲の諸事件の根っこはひとつ、憲法はどうした！と強調する。

▼小泉内閣を頂点とする競争至上主義とその継承者安倍内閣でいいんですか？ということを知りたいと永江朗氏はいいい、つづけて均一な社会は、キモチ悪いが、「弱肉強食」はいいやだ、私は「焼肉定食」を食べたいと笑った。

▼「参院選、私の個人的なスタンスは「金払う価値のある議員選びよ」というのは作家の中村うさぎさんだ。

▼年金問題は改憲をかくすイカのシミだの見方もあるが、この怒りのホコ先を政治の流れを変える方向にむけるか、私たち自身にかかっている。85%の9条を評価する世論を国政に反映させなければ、他の課題はおして知るべしである。



制度の見直しを訴える小川東京保険医協会事務局次長

「後期高齢者医療」の見直しを

葛飾社保協 53人出席して学習会

75歳以上対象 介護と合わせ月1万円にも

「書記・高橋世子記」「弱者をこんなにいじめる医療制度改悪の目的は何ですか？」と題して葛飾社保協、学習会が6月28日、夜7時より葛飾支部会館で開かれました。参加者は53人（支部より28人参加）でした。

この学習会は来年4月より75歳以上のすべてが加入する高齢者医療制度と40歳以上74歳未満の人が対象の特定健診制度について、東京保険医協会小川さんを講師に学習しました。

年金から天引き
年7万5千円も

高齢者医療制度は都道府県ごとの広域連合が運営し、保険料はすべての高齢者から徴収し、年金加入者は年金から天引きになり死ぬまで払うこととなります。保険料の滞納

者には、資格証明（医療費全額窓口払い）が発行されます。こうなると病院に担ぎ込まれた時は手遅れという事態が起こりえます。

東京土建国保の加入者本人が75歳になった時は、東京都の広域連合へ加入し、その家族は区の国保加入となりま

その家族が75歳になった場合、その家族だけ広域連合に移り組合員本人はそのまま土建に

「メタボ」は
自己責任だと

「特定健診・特定保険指導」はメタボリック症候群対策で特定健診を受け、その結果で改善の保健指導を受けるものです。5年間の結果しだいで土建国保にペナルティを課し後期高齢者支援金を増やしたり減らしたりするものです。厚生労働省は「生活習慣病とは不適切な食生活、運動不足、喫煙などで起こる病気で自己責任によることが多い」として保険の効かない治療を増やそうとしています。

参加者の中からの質問では、今まで一生涯懸命働いて税金を納めてきたが、年をとり収入も食べて行くのがやっとならぬのか？という声が出されました。

制度見直しを

改悪をはねかえして制度をよりよいものにするためや高齢者の生活実態や経済状況を踏まえた制度に変えていくために力を合せようということになりました。

住宅デー 見て歩く記



300人來場の奥戸会場



花鉢がズラリと並んだ金町



新築相談もあった柴又会場

第30回住宅デーは6月24日に41会場で開催。正午を前後する頃から小雨の中で実施となりましたが、会場となった公園、神社などや仲間の家には分会テントが並び、手すり取付けボランティア、住宅相談、分会独自の企画も多彩となりがなりました。



ただの泥ダンゴじゃないヨ、左官の技の一つだ（高砂）



アミ戸のはりかえも好評（柴又）



広場で多彩に（お花茶屋）



町会掲示板にポスター（堀切）



ズラリと並んで包丁研ぎをする仲間（西新小岩）

今年小・中学入学祝申請を

- 「入学祝制度」
 - ・07年4月入学の小・中学生
 - ・5千円図書カード
 - ・入学通知書、保険証、住民票などのコピー
- 「資格取得祝金制度」
 - ・07年4月以降取得者
 - ・1～2級、木造建築士および1～2級施工管理技術士と技能士
 - ・1万円
 - ・合格証書、資格証明書などのコピー

第1回健診は
406人受診

7月1日の支部健康診断は472人が申込みましたが、当日の受診者は406人でした。結果票は7月下旬に届けられます。次回は11月25日に

支部開設

- アドレス
- ・ <http://www.doken-katsushika.org/>
 - ・ <http://土建葛飾.jp/>